

第1号議案

平成17年度事業報告

概 要

平成17年度は、私たちの生活に大きな影響を及ぼす福祉制度が歴史的な変化をした年となりました。

それまでの支援費制度は、度々予算不足にみまわれ、ついに僅か3年で幕となり新しく障害者自立支援法へと変りました。

ホームヘルプサービスや車いすの交付などの福祉サービスを受ける場合、これまで負担金は一切かからないのが当たり前であった時代はいよいよ終わり、非課税者であっても障害年金を受給して福祉サービスを利用する障害者は、それぞれ一定の負担金を支払う、応益負担の時代へと変わることになりました。支援費制度で障害者の介護制度が定着し、多くの障害者がそれぞれの地域で自立した日常生活が送れるようになった矢先の出来事で、特に重度障害者にとってこの自立支援法が障害者の自立を阻害するのではないかと心配する人が増えています。

平成17年度はそのような中でも神奈川県支部活動は、関東ブロック会議神奈川県大会の主催をはじめ、新しい褥瘡の治療法いわれている ラップ療法についての医療セミナーの開催や川崎協会が主催した、「横浜港のクルージングと萬珍樓でディナー」など計画通り順調に推移しました。

また、神奈川総合リハビリテーション病院の林先生が退職されるに当たり、長年の労をねぎらうための「パーティー」も多くの方々の協力を得て開催することができました。

また、今回の関東ブロック大会では、障害の無い健常者が車いす使用者用駐車場を利用する問題について、はじめて突っ込んだ議論が行われましたが、各県支部ともこの問題に大きな関心を示しました。

今年はまた、交通バリアフリー法とハートビル法を一本化した、バリアフリー新法が今年国会で審議されることにあたり、全脊連は国土交通省に対して昨年11月に開催した関東ブロック大会で出された意見を踏まえて、バリアフリー新法に、健常者が車いす使用者用駐車場を利用しないようにするための方策を盛り込むよう提言しました。

いずれにせよ、私たちの身の回りには、これまでとは違う新しい法律や制度が押し寄せてくる歴史的な時代が始まりそうな予感を感じさせます。

創立以来28年目になる神奈川県支部も、この障害者福祉の歴史的な転換点にあって、さらに充実した支部活動が求められます。

1、第28回関東ブロック会議神奈川県大会

及びスポーツ交流会の開催

第28回目を迎える関東ブロック会議とスポーツ交流会は、11月5・6の2日間にわたり、伊勢原市のフォーラム246と神奈川県リハビリテーションセンターの2箇所の会場で開催し、約46名が参加しました。

神奈川県支部では、開催にあたりブロック会議とスポーツ交流会、グラウンドゴルフ大会への参加を呼びかけるためのお知らせを支部会員全員に配布しました。

【開催の目的】

（社）全国脊髄損傷者連合会の関東各9支部が一堂に会し、組織的な活動によって地域における脊髄損傷者及び重度障害者の生活向上と福祉の増進を図り、住みやすい社会環境づくりを目指し、情報交換、研究、討議を行い、関東各県における福祉活動の現状を学習する。

【日 程】

第1日目 関東ブロック会議神奈川県大会

平成17年11月5日（土） 於 フォーラム246

会 議 13時～17時

懇親会 18時30分～20時30分

第2日目 スポーツ交流会 グラウンドゴルフ大会

平成17年11月6日（日） 於 神奈川県リハビリセンター

競 技 10時～13時（雨天のため時間を繰りあげる）

第1日目のブロック会議では、例年通り各県支部の活動や平成17年度の計画などについての報告が行われました。

この中では、千葉県支部のピアマネジャーによる定期的なピアサポート活動や、大型スーパーなどにおける障害者用駐車場問題の啓発活動などがとくに注目されました。

千葉リハビリテーションセンターでは、入院している脊髄損傷患者に対するピアサポートがすすめられていて、外部からのピアサポーターを受け入れていること、などの報告がありました。

また、主に障害者用駐車場が健常者に利用されるなどの問題や、新しく施行される障害者自立支援法、また自動車重量税の減免などの問題に対する各県支部からの要望事項や提案事項が提案されました。

一方、関東ブロック会長の活動報告と会計報告が行われたほか、関東甲信ブロック会規約の一部改正が行われ、ブロック会規約第3条にある、「団体加盟会員」の意味について、「このブロック会に賛同して入会した支部」と定義づけられ、改正案が全会一致で採択されました。

また、2日目に行われたグラウンドゴルフ大会では、それぞれ8チームに分かれて戦われましたが、あいにくの天候のため時間を繰り上げて終了することになりました。

その結果、千葉県支部の松田利夫さんが優勝したのをはじめ、千葉県支部が、4位までを独占する勢いでした。

グラウンドゴルフ大会成績は以下の通り。

優 勝	松田 利夫(千葉支部)	45打	<u>ホールインワン賞</u>
準優勝	久我 昇(千葉支部)	47	小林 文彦(山梨支部)
3 位	今関 照代(千葉県)	50	中内 貞夫(千葉支部)
4 位	今関 照男(千葉県)	50	<u>ブービー賞</u>
5 位	佐久間侶男(埼玉支部)	51	町田 安男(神奈川支部)
6 位	米山 国雄(東京支部)	51	<u>努力賞</u>
			鈴木 滋美(神奈川支部)

2、関東ブロック連絡会の開催

関東ブロック大会の運営を円滑に進めるために、調整や事前打ち合わせを行うためのブロック連絡会は、神奈川県支部主催で、8月20日(土)に同じくフォーラム246において開催しました。

連絡会には、関東各支部の支部役員ら22名が出席して、主に前回開催された千葉県大会での懸案事項や神奈川県大会の進め方、また、関東ブロック会規約の改正案等について検討を行いました。

3、医療セミナー「褥瘡の治療」の開催

『ラップ療法について』 講師 鳥谷部俊一先生

脊髄損傷者にとって褥瘡は最も怖い疾患の一つですが、支部では新しい褥瘡の治療法と言われてる、いわゆるラップ療法(開放性ウェットドレッシング療法)の第一人者である、長野県の相澤病院褥瘡治療センター部長の鳥谷部俊一先生をお招きして、6月11日の支部総会開催日に合わせて医療セミナーを開催しました。

セミナーには、計21名が参加しましたが、遠くは茨城県支部からも参加

者があり、鳥谷部先生の講義を熱心に耳を傾けていました。

また、ラップ療法についての感想としては、脊髄損傷者の大きな褥瘡には不向きではないか、などの意見がありました。

4、林 輝明先生ご勇退パーティーの開催

褥瘡治療で数多くの脊髄損傷者が長年にわたりお世話になった、神奈川総合リハビリテーション病院の林輝明先生が定年を迎え、ご勇退されることに当たり、支部では、4月22日にヒルトン小田原リゾートにおいて、元患者など関係者約50名が出席して、林先生のご勇退パーティーを開き、感謝の気持ちと長年のご苦勞をねぎらいました。

5、福祉機器展示会と吹き矢大会、忘年会の開催

12月16日（金）には、恒例になった支部忘年会を伊勢原市のフォーラム246で開催しました。今回は、忘年会に先立ち、私たちの日常生活に、必要不可欠な福祉機器の展示会とその説明会を開催しました。この福祉機器展示会には、茅ヶ崎市にあるTOTOユニバーサルデザイン研究所の協力により、バスリフト、トイレリフト、シャワー用車いす等を展示してもらい、それらについての説明を受けました。

また、このあと参加者全員で支部初めてのスポーツ吹き矢大会を楽しみました。参加者の殆どが初めての体験のため、吹き矢等の用具は全て借り物でしたが、それでも大いに楽しむことができました。これら、福祉機器展示会と吹き矢大会に40名が参加しました。

そして、この日の最大のイベントである忘年会へと移りましたが、参加者はいつものように、豪華な商品が当たるビンゴゲームやカラオケを心行くまで楽しみ、夜遅くまで語り合いました。

6、ピアマネジャー養成研修の受講

（社）全国脊髄損傷者連合会は、独立行政法人福祉医療機構の助成を受け平成16年度から18年度までの3年計画で、全国に120名の脊髄損傷者のピアサポーターを養成するピアマネジャー養成研修事業をすすめています。

2年目に当たる17年度は、秋田県と大阪市でそれぞれ研修会が開催されましたが、秋田県で開催された第2回目の養成研修会に神奈川県支部から2名が受講しました。

神奈川県支部では既に、平成16年度の脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修に3名が受講していますが、17年度の2名と合わせて計5名の脊髄損傷者のピアマネジャーが誕生していることになります。

【神奈川県支部のピアマネジャー】

〔川崎協会〕 岡野善紀、志村裕子

〔県央協会〕 赤城喜久代、路川十九夫、町田安男

7、協会活動

(1) 川崎協会主催『横浜港クルージング & 萬珍樓でディナー』

横浜の山下公園にある乗船場から、おしゃれで豪華な遊覧船「マリノールージュ」に乗り横浜港を周遊。秋の潮風を満喫するクルージングを楽しんだ後は、中華街へぶらり繰り出し、萬珍樓本店で豪華なディナーをみんなで心行くまで楽しむ。という2本立ての企画で10月14日（金）、川崎協会の主催で実施されましたが、この日は天候にも恵まれ、クルージングには、29名、また、萬珍樓でディナーには37名が参加しました。

8、支部会報『やわらぎ』の発行

平成17年度の「やわらぎ」は、71号の支部総会議案書と大井文化部長の編集による第72号、73号の計3回発行しました。

72号では、「支援費制度の行方」と題して、介護保険制度と支援費が統合されるといわれている中で支援費制度は、一体どうなるのか、という問題で行われた支援費セミナーの内容について詳しくお伝えしたほか、障害者の差別禁止法の必要性などの記事を中心に取り上げました。

また、73号では、川崎協会が主催した、クルージングと中華街でディナーの報告記事や第27回支部総会の報告が取り上げられ、新しく決まった、17年度支部役員が紹介されました。以下は、発行実績です。

やわらぎ第71号……………2005年 5月10日発行

やわらぎ第72号……………2005年 5月18日発行

やわらぎ第73号……………2005年11月12日発行

9、平成17年度支部総会の開催

平成17年度の第27回神奈川県支部総会は、6月11日に伊勢原市の「フォーラム246」で開催しました。

総会では、16年年度の活動報告や決算などが報告されたほか、17年度

- 4、神奈川県防災体験研修会が10月26日厚木市で開催され、山崎支部長、路川副支部長、大井文化部長が出席しました。
- 5、神奈川県の自立支援法説明会が11月9日に海老名市で開催され、山崎支部長が出席しました。
- 6、3月25日、「栄養と健康教室」に路川、山崎（敏）が参加しました。
- 7、（財）共用品推進機構が行う「障害者の不便さ調査」をインターネット上で行う、アンケートモニターに支部から5名が協力しました。
- 8、東京支部主催の新年会が1月29日に東京都障害者スポーツセンターで行われ、山崎支部長はじめ3名が参加しました。

以上